

# 守りたい故郷の味と笑顔



## 食育

給食でも人気の「さぬきキウイっこ®」(中央小)



## 地産地消

### 普通寺のキウイを守るために

キウイは、ふるさと納税の返礼品や、「地産地消」「食育」を学ばせつかけとして、子どもたちの教育面でも大きな効果を与えています。

#### キウイがもたらす影響

普通寺のキウイは、そのおいしさから、ふるさと納税でも、人気がある返礼品として取り扱われています。また、学校でも地産地消や食育を学ぶために、キウイは重要な役割を担っています。

1粒30g〜50g程の世界最小の「さぬきキウイっこ®」は、学校給食でも提供され、子どもたちにも人気のデザートとなっています。爪できれいに割って、スプーンで食べる子、あまりのおいしさにそのままぶりついて食べる子。



「緑色が濃い方があま〜い」「10個くらい食べられる」素直な感想が飛び交う教室には、自然と笑顔になる子どもたちで溢れていました。

#### 直面している課題

取材の中で、生産者の方々が共通して話していたことは、「後継者づくりが大事」ということ。キウイに限らず、農業分野では、担い手不足が深刻な問題です。特に、キウイなどの棚果樹は、機械化することが難しく、手作業が多いこと、果実が収穫できるまでに時間がかかることなど、新規生産者が増えにくいといわれています。これらの課題を早く解消することが、普通寺のキウイを守り、次の世代へと引き継ぐことにつながります。

#### 生産者を応援する立場 私たちにできること

これまでご紹介したように、私たちの地域には、素晴らしい品質のキウイと、それを真心込めて大切に育てる生産者の方々がいます。

では、消費者である私たちは、キウイを守るために何ができるのでしょうか。まずは、その「価値」に気づくことが、普通寺のキウイを守る第一歩となるはずです。一人ひとりが価値に気づき、おいしく味わうこと。その行動は、生産者を応援することにつながり、普通寺のキウイを守るためにもなります。

皆さんは、最後にいつキウイを食べましたか。口に入れた瞬間、果肉がとろけ、じわ〜っと口の中いっぱい甘い甘さが広がる。うびフルーツ。生産者さんの愛情がたっぷりつまった普通寺産のキウイフルーツは、今まさに旬を迎えています。

### 行政も動き出す! 「普通寺市強い農業実現プロジェクト」始動中

行政としても、地元のキウイをどう守っていくべきか。

市では、昨年度から「普通寺市強い農業実現プロジェクト」と題し、特産物を作る生産者を育成するプロジェクトを立ち上げました。その特産物の一つがキウイフルーツ。行政・民間・生産者が一体となり、課題解決に向け取り組んでいます。

キウイ栽培や農業に興味のある方、将来的に農業に挑戦してみたい方は、農林課(☎63-6316)までお問い合わせください。

